

医療的ケア児等コーディネーター養成研修等について

[資料3]

1 令和6年度愛知県医療的ケア児等コーディネーター養成研修 修了者内訳

○市町村別修了者数

市町村	R6修了者	配置人数 (R6.4時点)	計
1 名古屋市	62	134	196
2 豊橋市	2	11	13
3 岡崎市	2	6	8
4 一宮市	2	8	10
5 瀬戸市	0	10	10
6 半田市	0	4	4
7 春日井市	2	5	7
8 豊川市	1	2	3
9 津島市	1	6	7
10 碧南市	0	2	2
11 刈谷市	1	6	7
12 豊田市	2	4	6
13 安城市	2	10	12
14 西尾市	1	3	4
15 蒲郡市	0	8	8
16 犬山市	1	3	4
17 常滑市	1	4	5
18 江南市	2	4	6
19 小牧市	1	4	5
20 稲沢市	2	11	13
21 新城市	1	1	2
22 東海市	1	2	3
23 大府市	1	5	6
24 知多市	1	4	5
25 知立市	1	2	3
26 尾張旭市	1	7	8
27 高浜市	1	4	5

市町村	R6修了者	配置人数 (R6.4時点)	計
28 岩倉市	1	5	6
29 豊明市	2	6	8
30 日進市	1	3	4
31 田原市	1	3	4
32 愛西市	1	4	5
33 清須市	2	10	12
34 北名古屋市	1	9	10
35 弥富市	1	7	8
36 みよし市	2	9	11
37 あま市	2	6	8
38 長久手市	2	4	6
39 東郷町	1	3	4
40 豊山町	1	2	3
41 大口町	0	5	5
42 扶桑町	1	6	7
43 大治町	1	7	8
44 蟹江町	1	2	3
45 飛島村	0	4	4
46 阿久比町	1	3	4
47 東浦町	1	2	3
48 南知多町	2	4	6
49 美浜町	0	2	2
50 武豊町	1	2	3
51 幸田町	1	1	2
52 設楽町	0	2	2
53 東栄町	0	1	1
54 豊根村	0	-	0

センター名	R6修了者	配置人数 (R6.4時点)	計
55 あいち医療的ケア児支援センター	1	1	2
56 青い鳥医療的ケア児支援センター	1	2	3
57 三河青い鳥医療的ケア児支援センター	1	5	6
58 にしおわり医療的ケア児支援センター	1	2	3
59 信愛医療的ケア児支援センター	1	4	5
60 にじいろ医療的ケア児支援センター	2	4	6
61 だいでう医療的ケア児支援センター	0	3	3
合計	126	403	529

○職種別計

職種	人数	割合
相談支援専門員	282	53.3%
保健師	94	17.8%
看護師	65	12.3%
相談員／支援員	24	4.5%
その他	64	12.1%
計	529	100.0%

2 令和6年度医療的ケア児等コーディネーターフォローアップ研修開催状況について

【資料3】

【開催方法】

令和3・4年度は名古屋市と共同で実施していましたが、令和5年度以降は各医療的ケア児支援センターと共同で実施しています。

センター名	にしおわり医療的ケア児支援センター	あいち医療的ケア児支援センター	三河青い鳥医療的ケア児支援センター	信愛医療的ケア児支援センター	青い鳥医療的ケア児支援センター	にじいろ医療的ケア児支援センター	だいでう医療的ケア児支援センター (名古屋主催)
日時	令和6年12月26日(木) 13:00~16:45	令和7年1月24日(金) 13:00~16:45	令和6年12月13日(金) 9:30~12:30	令和6年11月28日(木) 10:00~16:00	令和7年1月22日(水) 9:30~16:30	令和6年12月4日(水) 13:00~16:45	令和7年2月22日(土)【予定】 13:00~17:00
場所	一宮医療療育センター 旧尾西記念病院1階会議室	愛知県医療療育総合センター 講堂	愛知県西三河総合庁舎 402会議室	豊川市商工会議所 第3研修室	青い鳥医療療育センター 講堂	重心施設にじいろのいえ	だいでうクリニック 5階 講堂
対象市町村 (圏域)	一宮市 稲沢市	春日井市 犬山市 江南市 小牧市 岩倉市 大口町 扶桑町 瀬戸市 尾張旭市 豊明市、日進市 長久手市 東郷町	豊田市 みよし市 岡崎市 幸田町	豊橋市 豊川市 蒲郡市 田原市 新城市 設楽町 東栄町 豊根村	清須市 北名古屋 豊山町 津島市 愛西市 弥富市 あま市 大治町 蟹江町 飛島村	半田市 常滑市 東海市 大府市 知多市 阿久比町 東浦町 南知多町 美浜町 武豊町、西尾市 碧南市 刈谷市 安城市 知立市 高浜市	名古屋市
参加者数	12名	10名	14名	25名	16名	13名	120名(定員)
主な内容	<p>【講義】 ①愛知県における医療的ケア児への支援 (県障害福祉課医療療育支援室)</p> <p>②『医療的ケア児と家族に寄り添う』 ～医療、福祉のアセスメントを重ねる～ (特非)ふいー工房 新井氏※</p> <p>③個人ワーク、グループワーク (福)さきがわ福祉会 梅本氏※</p> <p>※ 愛知県医療的ケア児等アドバイザー</p>	<p>【演習】 ①自己紹介及び自己覚知(エゴグラム) (県障害福祉課医療療育支援室)</p> <p>②コーディネーターとしての主な活動 内容と活動して感じたこと</p> <p>③コーディネーターとして求められる 役割とは</p> <p>【講演】 ④「コーディネーターとして活動して 感じていること」 (犬山市保健センター 保健師) (豊明市教育委員会学校支援室 特別支 援教育専門員)</p> <p>【演習】 ⑤各市町の医療的ケア児支援の課題の共 有と解決方法について</p> <p><演習ファシリテーター> (有)心の泉 中山氏※ (有)シーズン 神田氏※ (犬山市保健センター 保健師) (豊明市教育委員会学校支援室 特別支 援教育専門員)</p> <p>※ 愛知県医療的ケア児等アドバイザー</p>	<p>【講義】 ①県の医療的ケア児支援の取組について (県障害福祉課医療療育支援室)</p> <p>②医療的ケア児と関連する疾患について (三河青い鳥医療的ケア児支援セン ター 越知センター長)</p> <p>【講義・演習】 ③子どものケアを知らう 呼吸・吸引編 (Tiriser(株) 澤野氏※)</p> <p>【演習】 ④医療的ケア児コーディネーターの活動 報告 ～アドバイザーの活用～ (株)Loving Look 安井氏※</p> <p>※ 愛知県医療的ケア児等アドバイザー</p>	<p>【講義】 ①県の医療的ケア児の支援体制構築の必要性 について (福)むそう 戸枝氏※</p> <p>②医療的ケア児におけるアセスメン トについて (特非)ふいー工房 新井氏※</p> <p>【演習】 ③事例検討 (福)櫻の木福祉会 野崎氏※ (Tiriser(株) 澤野氏※)</p> <p>【講義】 ④演習を踏まえた内容 (Tiriser(株) 澤野氏※)</p> <p>※ 愛知県医療的ケア児等アドバイザー</p>	<p>【講義】 ①医療的ケア児の支援体制構築の必要 性について (福)むそう 戸枝氏※</p> <p>【演習】 ②事例検討 (福)ひかりのいえ 大南氏※ (特非)ひなたの物語り 今西氏※</p> <p>※ 愛知県医療的ケア児等アドバイザー</p>	<p>【講義】(予定) ①医療的ケア児の制度動向と名古屋市の 支援施策について (名古屋市福祉課)</p> <p>②名古屋市医療的ケア児支援スーパーバ イザーの自己紹介</p> <p>③幼稚園、学校の入園・入学について (名古屋市教育委員会)</p> <p>④公立保育園の入園について (名古屋市保育運営課)</p> <p>⑤民間保育園の入園について (名古屋市保育企画課)</p> <p>【演習】(予定) ⑥グループワーク</p>	
感想 (抜粋)	<p>・県がコーディネーターを後押ししよう と取り組んでいる事が分かりました。 ・あらためてコーディネーターの役割や 求められていることを確認できまし た。</p> <p>・今日のお話を聞いて、アセスメントも そうですが、やはり聞くこと、繋がるこ とからコーディネーターの役割が始まる のだと改めて感じました。</p> <p>・県がコーディネーターを後押ししよう と取り組んでいる事が分かりました。 ・あらためてコーディネーターの役割や 求められていることを確認できまし た。</p> <p>・我が街でできることを、改めて考えさ せてもらいました。 ・同じ仲間情報共有できて、気持ち が楽になりました。</p>	<p>・自分を振り返る機会がなかなかなか ったので今回の結果を見て改めたいと思 いました。</p> <p>・様々な現場で働いていらっしゃる方々 と意見交換ができたのが、非常に良かった。</p> <p>・他市町の動向や、同じ悩みを持ちなが ら取り組んでいることがわかりよかつ た。</p> <p>・コーディネーターとしてだけでなく、 職業人としても大切なことをお話しくだ さったと思います。</p> <p>・頑張ることが当たり前、でも頑張るす ぎずし他者にもお願いする。参考になり ます。</p> <p>・人と人をつなぐ役割ができるとうい て思いました。</p> <p>・コーディネーターの活動について、い ろいろ考える機会になりました。</p>	<p>・コーディネーターとアドバイザーがど のように医療的ケア児とその家庭、医療 機関や教育機関を繋げていくのかわかり やすかつた。</p> <p>・在宅医療のことで災害時の対応、必要 なものなど話を聞く機会があればと思う。 ・疾患について大変勉強になりました。 今後とも疾患についてしっかり理解した上 で支援に携わりたいと思います。</p> <p>・初めて、このような研修に参加させて もらったので、色々な事業所や職種の方 とも交流が持てたので良かった。</p> <p>・医療事故の事例を知れて良かった。</p> <p>・コーディネーター、アドバイザーの存 在を知らなかったのが、興味深かつた。</p> <p>・1度やってみるにできるものではない ことが分かりました。</p>	<p>・支援状況の今を知る事ができた。 ・横のつながりや連携が重要であること を改めて感じました。 ・実事例を交えながら講義いただき参考 になりました。</p> <p>・コーディネーターとして、色々な機関 と連携するためのアセスメント方法を学 べました。</p> <p>・分析、見立ての重要性が分かりました。 ・サービ担当者会議に注意すべき点が 理解できた。</p> <p>・アセスメントをどう活かすのかが大切 だと思いました。</p> <p>・それぞれの立場から連携して支援して いく大切さを改めて学べました。</p> <p>・街づくりの重要性実感しています。</p> <p>・他のコーディネーターや行政職の方の 意見を聞いて良かったです。</p>	<p>・子どもの発達支援と家族を含めた見通 しを持つことの重要性と必要なポイント を学べました。とても参考になる研修で した。</p> <p>・実際の事例をもとに話を聞くことがで きて、イメージしやすかつた。</p> <p>・講義で得られた学びを活かしなが ら検討ができたのでとても良かったです。</p> <p>・他職種連携ができ各職種での視点で さんがえられてよかった。</p> <p>・きょうだい児の話はあまり聞いたこと がないので、参考になりました。</p> <p>・コーディネーターとしての役割や立ち 位置を確認できた。</p> <p>・みなさんと意見交換できてよかつた。</p> <p>・どうまとめていけばいいの難し かつたけど、助言を受けることで、イメージ できた。</p>	<p>・各市町の取り組み方の違いがよく分 かつた。医ケアコーディネーターの動き 方を事例を上げて話されたことや今の サービスの課題や保護者が前面に出て いる状況を冷静にみて本人を中心に 見たい。</p> <p>・具体的な事例を基に研究、情報共有 をする機会があるとうい。</p> <p>・地域との関わり方、改めて資源の確 認となった。</p> <p>・視点の再確認ができたが、コ ーディネーターとして、資源が無い場合のつ ながる協議の場、自立支援協議会での 検討など、プロセスは心で得ているつも りだが、資源開発は極めて難しい。</p> <p>・他自治体との情報共有ができて良 かつた。</p>	